つづくを、つなぐ。

地域クラブ活動への展開と
持続的な運営体制の整備について

少子化に伴う活動機会の減少への対応と
子どもと向き合う時間の確保

千葉県
柏市教育委員会

柏市
KASHIWA CITY

柏市の部活動の実態

令和７年度柏市立中学校部活動（入部生徒数）

中学生数		10139 人
部活動加入率（運動・文化）	80.53%	8165 人
運動部	61.54%	6240 人
文化部	18.99%	1925 人

分野	運動													文化									合計
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
部活動名	陸上競技	水泳競技	バスケットボール	サッカー	ハンドボール	軟式野球	バレーボール	ソフトテニス	卓球	バドミントン	ソフトボール	柔道	剣道	吹奏楽，オーケストラ	美術	カルチャー，クラフト	茶道	科学	演劇	囲碁将棋部	コンピュータ	文芸デザイン	
男子	620	3	646	501	28	410	153	372	591	42	0	20	122	167	95	23	13	105	12	8	38	7	3976
女子	339	5	394	7	8	12	486	546	352	412	38	4	129	679	514	128	35	29	35	2	6	29	4189
小計	959	8	1040	508	36	422	639	918	943	454	38	24	251	846	609	151	48	134	47	10	44	36	8165

部活動の抱える課題

少子化に伴う活動機会の減少
子どもと向き合う時間の確保　等

⇩

学校単位の部活動の限界

⇩

今後，求められること

【子どもたちの活動環境を持続可能な形で担保】

自治体・地域クラブ・学校の協働が必要

休日の部活動を地域クラブに展開

中学校の部活動を地域に展開（休日）

	令和４年度まで	令和５年度から	
平日	学　校	学　校	これまで同様に学校が担う
休日		地　域	野球クラブ 陸上クラブ 卓球クラブ 吹奏楽クラブ 近隣クラブと連携し、現状の部活動の構成に近い形でクラブを立ち上げる（近隣クラブと連携し、学年別やポジション別に分かれて活動も可）

「部活動のあり方に関するガイドライン」［中学校版］【第４版】（令和6年9月施行）

◆限られた大会等のみ，活動することが可能だが，土日は原則，活動を行わないこととしている。

➡土日に活動を望む生徒，教職員の活動機会の確保＝地域クラブ　＊地域クラブへの登録は任意

地域クラブのあり方

「楽しさ」「喜び」を感じる事を本質として活動

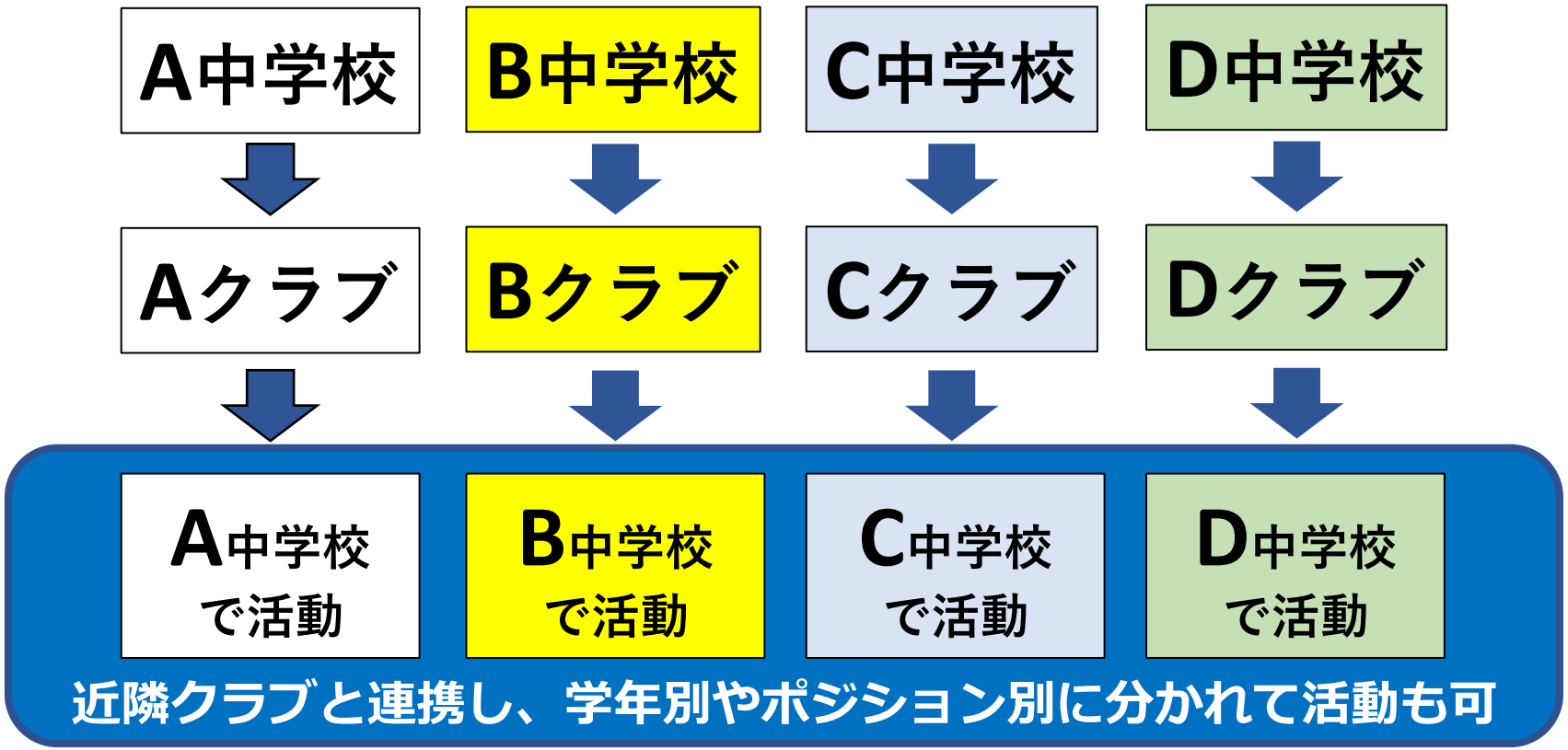
【活動範囲と目的】

- 活動時間は土日どちらか３時間程度
  （部活動ガイドラインと同等）
- 参加家庭の負担軽減のため，遠征等を頻発させないように運営団体が管理
- 運営団体主催の大会等を充実させ，子どもたちの出場機会を創出

地域クラブの立ち上げ

～クラブの構成～

近隣クラブと連携し、現状の部活動の構成に近い形でクラブを立ち上げる



地域クラブ運営の仕組み・運営団体の主な役割

地域指導者

- 登録
- 研修参加
- 謝金支払い

【謝金詳細】
指導員 1,600円/時
補助員 3,000円/回
※兼業教員は指導員

地域クラブ運営団体
一般社団法人　柏スポーツ文化推進協会（KSCA）
〈全体の統括・危機対応〉

参加費用や活動内容に差が生じないよう全体を統括する推進協会が全種目の運営を担う

集金・指導報酬の支払	指導員募集，配置，研修	相談窓口
怪我・物損の対応	指導場所の巡回	イベント企画

専門委員長（副）　エリアMG　施設Co

クラブ指導員，ボランティア指導員
〈参加者への指導〉

教職指導員と一般指導員により，地域クラブの指導に当たる

野球クラブ　剣道クラブ　卓球クラブ　テニスクラブ

参加希望生徒

- 登録
- 参加費

【参加費内訳】
≪１，２年生≫
年5,000円
≪３年生≫
年2,500円
(保険，備品，
システム管理)
月 2,000円
(謝金，消耗品)

地域展開の現状（令和７年6月現在）

↓市中学校教職員全体の３割程度が指導員登録（兼職兼業）

市内中学校数　公立校　21校
全17種類　（R7さらに新クラブ設置予定）
クラブ数　188クラブ
合計　4,590名（1クラブ 平均24.4名）

指導員数		
教員（6割）	一般（4割）	計
約226名	約158名	約384名

バスケットボール（C38/886）	ソフトテニス（C25/599）	軟式野球（C14/347）	バドミントン（C11/269）	剣道（C9/123）	ハンドボール（C1/35）	体操（C1/2）	ダンス（C1/16）	吹奏楽（C21/666）

種目（C:クラブ数／生徒数）	卓球（C18/486）	サッカー（C16/389）	ソフトボール（C2/34）	バレーボール（C18/511）	柔道（C2/15）	女子サッカー（C1/6）	陸上短・長距離（C16/163）	硬式野球（C1/23）

専門的指導

【陸上競技】

短距離・長距離と種目を
細分化して活動

【バドミントン，野球】

実業団での指導経験がある指導員

➡専門的な指導を受けられる

柏市 KASHIWA CITY

地域連携

【ソフトテニス】

保護者や地域の競技経験者，地域企業の従業員等がボランティアとして参加

➡地域連携の活性化

地域とともにある学校

【剣道】

指導員の地元道場での教え子（大学生）が師弟のつながりからボランティア指導員として参加

柏市 KASHIWA CITY

多世代交流

【卓球】
　仕事を引退された方も子どもたちのために指導

【サッカー】
　少年サッカーチームとの交流戦（Bチーム）
※ルールの工夫
➡様々な世代との交流

・準備が整い次第，
　　小学生の参加も可能になる
・大人との交流試合等も計画予定

活動環境の充実

【柔道】

拠点校にて合同練習

➡階級に合わせた相手，
専門的指導

【野球，サッカー】

学校に希望する部がない生徒が地域クラブに参加

➡興味関心に応じて選択が可能

◆学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）

多様なニーズに答えた活動の充実

【ダンス，走り方教室】
イベントとして実施
➡学校部活動にない
体験が充実

R６：５月より
女子サッカー，ダンス開始

柏市 KASHIWA CITY

子どもたちの発表・経験機会の創出を目指した運営団体主催大会

【企業と協賛】

地元の野球用品店の冠大会

➡◆企業より，試合球の提供

◆開会式後に集まった選手によって，即席１２チームを編成

（W-UP，スターティングメンバーや打順，選手交代，サインプレー等の全ての決定を選手たちで行う）

➡◆２日間で市内外から約７０万人もの人が訪れる「柏まつり」にて，ダンスクラブがステージ発表

【指導員や保護者からの声】

・成果発表の場を設けてもらえて嬉しい

・他校の生徒との交流が広がった

活動が開始したことによる時間外在校等時間の削減効果

職種＼時期	令和２年１１月	令和４年１１月	令和5年11月	令和6年11月
平均時間 中学校教諭 （常勤）	59時間24分	48時間30分	46時間00分	**40時間50分**

◆月４５時間を下回る

【教職員へのヒアリング調査から】

・遠慮せずに休めるようになった。
・教頭の休日の負担が軽減されている。
・休日の休養時間が増えた。
・ワークライフバランスが充実した。

関連リンク

【運営団体HP】
https://kashiwa-sca.jp/
生徒登録，指導員登録，
活動スケジュール，問い合わせ　等

【動画説明：【部活動地域展開】柏市の部活動…”
クラブ化”するとどう変わる？】
https://www.youtube.com/watch?v=nP09Lppvwk4&t=3s

柏市
KASHIWA CITY